



こながい



新聞



お財布にも優しい
支えあいの会



生活支援コーディネーター
伊東 由美子さん

私は、高齢化社会を悲観するものではないと思っています。長い人生を歩んできた方と、これから一緒に生きていける時代は、とても素晴らしいものです。自分の知らない世界を教えちゃって、お互いに学び合って、助け合って、一緒にこの世界を楽しんでいけたらいいなと願っています。



@ISAHAYA_GURASHIKO

「ちょっと困ったな」を「大丈夫だよ」に。ゴミ出しや畑の手入れ、病院への送迎など、支援内容は日常に寄り添ったものばかり。1時間五百円という有償ボランティアだからこそお願いする側も、引き受ける側も無理がない。登録ボランティアは約百人。現在までにすでに百件以上の依頼があり、日々輪が広がっています。

「こながい支えあいの会」令和4年11月、小長井に暮らす一人ひとりが力を合わせて、高齢者の暮らしを支える仕組みが立ち上がりました。いつまでも自分らしく暮らせるように。そんな想いから生まれた、小長井の地域の力を活かした取り組みです。

こながい支えあいの会

～いつまでも生き生きと暮らせる地域づくりを～



支えあいの会を支えているお三方
(左)副会長 松下英陽さん (中)会長 徳永秋果さん (右)事務局長 毎熊聡さん

「長生きしてよかった」と
「考える町へ」
「住み慣れた場所で、最後まで自分らしく暮らしてほしい」
小長井地域の方々が集い、「語らば」で重ねてきた話し合いから、こながい支えあいの会が生まれました。

誰かのために動くことが、気づけば、自分の未来を明るく照らしている。
「長生きしてよかった」と、心から言える場所へ。
あたたかな想いが、今、小長井の新しい未来を作り始めているのです。



支えあい号での移動支援の様子

Isahaya city

こながい
小長井新聞

2025
4.18. Fri
Vol.5

諫早市地域おこし協力隊
伊藤優美

この会の素晴らしいところは、無理なく、持続可能な仕組みになっていること。
高齢化社会は避けられないからこそ、この社会を受け入れながら生きる町づくり。
そんな素晴らしい取り組みが小長井で始まっていることはこの町の誇りではないでしょうか

編集後記



2024年11月
こながい支えあい号の運用スタート!

送迎における
法的・安全面
課題を解決!

地域公共交通実証
再編プロジェクト
の再編を受け導入
助成を受けました

移動支援には
この車に
乗っています

2台あるよ!

こながい支えあい号



Our light and love
brighten the World.

つながいまえあいの会

☎ 0957-34-2966

お気軽にご連絡ください。
ボランティアも募集中!